



TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association
ホームページ <http://tifa-class.net/>

2018年3月22日
Vol.132
立川国際友好協会
発行責任者 齋藤 貴
編集責任者 小林 保

外国人に日本語を教えるボランティア団体

☆☆ TIFA総会 ☆☆

TIFA 総会の開催日が決定しましたのでお知らせします。
TIFA の今後の活動を定める重要な会議ですので、ボランティア
会員の方々は、必ず参加されますようお願いいたします。
皆様の活発なご意見を期待しています。

開催日時：5月19日（土）15:00～17:00

会場：柴崎学習館1階 第一教室（予定）

議題：

- ・平成29年度 TIFA／各部 活動報告
- ・平成29年度 会計決算報告／監査報告
- ・平成30年度 TIFA 役員改選／新体制
- ・平成30年度 予算案
- ・平成30年度 TIFA／各部 活動計画
- ・その他

☆☆ 木曜教室研修会 ☆☆

2月8日の午後、柴崎学習館の学習室においてボランティア研
修会が行われ18名が出席しました。ボランティアの山崎耕造さ
んが講師役を務め、「日本語の立ち位置」についてお話くださいま
した。

現在、世界中で6000くらいあると言われている言語の中でも、
日本語は上から11番目に話者が多いものの、日本の人口が世界
の中でやはり11番目に多いことから海外では日本語は日常的に
は話されてはいない言語だと言え、それは日本語が特殊な言語で
あることに困るそうです。そのことを踏まえた上で日本語教育に
携わる私達は、日本語教育の歴史が庶民によって支えられてきた
ことを忘れず、今後も日本に住む外国人に、「わかりやすい日本語」
を教えていこうと再認識しました。



木曜教室 研修会の様子

☆☆ 土曜教室 節分 ☆☆

2月3日、土曜教室で恒例の節分が行われました。節分につ
いてイラストと平易な言葉で書かれた用紙を受講生に配り、ボ
ランティア



鬼に扮したボランティア

ランティア
が簡単に説
明をしたあ
と、4名のボ
ランティア
が鬼のお面
を被り教室
内を闊歩し
ました。受
講生達は、
その鬼を相
手に豆を撒
き、節分
気分を味わ
いました。こ
の日、初め
て豆撒きと
いう行事を
知った受
講生も多く
、驚きととも
に



教室内を回る鬼

大喜びでした。

☆☆ 西砂教室の現況 ☆☆

新しい年の教室が1月6日から始まりました。

参加ボランティアの数は20名前後、学習者の数は40名前
後でほぼ変わりません。



大人の教室

学習者の国籍は半数以上がベトナムで次が中国、ほかにスリランカ、
米国、フィリピンなどとなり、子供さんは現在4人です。寒い夜が
続いていますが皆さん頑張って自転車などで通っています。



子供の教室

今年は近くの公民館などを借りて参加者相互の交流会のようなもの
を開こうということ

で6月あたりを目途に計画が進行中です。

☆☆平成30年度の新役員☆☆

1月27日に開催した運営委員会で平成30年度のTIFA役員が決まりました。

会長：齋藤實（留任）
副会長：橋本溪一（留任） 近藤誠（留任）
事務局長：荒井由貴子（新任）
木曜教室部長：佐藤達夫（新任）
土曜教室部長：的場正道（留任）
西砂教室部長：佐藤公男（留任）
企画渉外部長：牛島芳（新任）
広報部長：小林保（留任）
会計部長：松本久（留任）
監査委員：赤嶺令子（新任） 奥田正博（新任）

☆☆ 新役員の紹介 ☆☆

事務局長：荒井由貴子

現住地：立川市富士見町（立川歴10年）
出身地：山形県山形市…何でも美味しいです。
あと東京の冬は寒くて辛いです。

職業：編集者 時々 国家公務員

趣味にしたいこと：土いじり。うちの畑をいじってもいい
という方、お声がけください。

抱負：できる範囲での活動となりますが有言は実行します。

木曜教室部長：佐藤達夫（前監査委員）

現住所：立川市錦町 出身地：国立市



趣味など：野菜づくり。以前は社交ダンスやらオカリナなどやっていたが今は孫の保育園への送迎などで忙しくできなくなりました。

抱負など：生徒さんが日本で上手に楽しく生活できるよう願っています。

企画渉外部長：牛島芳



現住所：立川市柴崎町
出身地：広島市江田島 小学校一年生より中野区
趣味：読書 抱負：受講生の方々が立川市を好きになって、楽しく生活できる様応援したい。

監査委員：奥田正博

現住地：立川市曙町 出身地：広島県広島市

職業：会社員（海外営業、今は国内営業）



趣味：音楽や運動、最近は世界の色々な国の歴史などを学ぶことが加わりました。

抱負：しばらくはTIFAのことや周辺のことを学びながら、各部の活動を精一杯サポートして

行きたいと思っています。

監査委員：赤嶺令子（前事務局長）

現住地：立川市富士見町 出身地：東京都江東区深川

職業：フリースクール教師

好きなこと：新聞を読むこと

抱負：事務局長を辞し、次年度より会計監査を担当しま

す。TIFAを違った角度や視点で見ることのできる好機ととらえ、任を果たしたいと思います。受講生や外国出身者対象の多文化共生サロン「～えんがわ～」を引き続き担当しますので応援をよろ

しくお願いします。



☆☆ 土曜教室カルタ大会 ☆☆

3月3日、30分程通常の学習をした後、3階の作業室に移り、カルタ大会を実施しました。例年は“ひな祭り”



でお雛様などの折り紙を折ったりしていましたが、今回は新しい企画です。

日本語能力別に6グループに分けてボランティアの指示に従い開始し、



天の原
ふり～

リーダーが読む百人一首やことわざカルタを聞き、我先にとカルタを取っていきました。

ジャンケンで勝って、お雛様の折り紙を貰いました。

私はたくさんカルタを取りましたよ。



お雛様の折り紙



☆☆異文化体験 盗難には注意！☆☆

土曜教室 小林 保

海外で盗難の被害に遭った事がありますか。私の不注意によるものでしたが、携帯電話で3回盗難等の被害を受けました。

1回目は12年前にイタリア旅行をした時、ローマの地下鉄内です。宿泊したホテルの近くの駅から、ローマ時代に剣闘士が戦ったスタジアムで有名なコロッセオ駅に向かう途中です。



携帯電話をここに入れた。

リュックサックを背負い、直ぐに取り出せるようにサイドポケットに携帯電話を入れていました。目的地に着き取り出そうとした時に携帯電話がないことに気づきました。いつ盗まれたか全く分かりません。地下鉄はそれ程混んでい

なかったが、外から見えるところに入れて置いたから、盗まれても仕方ないですね。

2回目は5年前でベトナムのハノイです。ボランティア日本語教師として行った時です。元勤めていた会社の同僚



ハノイに遊びに来てくれた元同僚と私。盗まれる前なので二人は笑顔でいます。

がハノイに遊びに来てくれ、一緒に路線バスに乗り市内の名所を見物しました。身動きが出来ない程、バスは満員でした。目的地に着き、後ろから押されるような感じでバスを降り、暫く歩くとカバンのファスナーが開いていることに気づきました。買ってから3ヶ月程しか経っていない 아이폰がカバンの中ありません。かなりのショックでしたが、会社の同僚の方がもっと被害が大きく、財布を盗まれ中には現金と運転免許証が入っていました。たすき掛けに掛けたカバンを身体の横に置いたため、満員だったため容易に盗むことが出来たようです。犯人は一人ではなく、おそらく集団だと思います。必ずカバンは胸の前に置かないとだめです。

3回目は約1年半前でベトナムのホーチミンです。これもボランティア日本語教師として行った時です。朝、学校に行くためにバス停でバスを待ち、なかなかバスが来ないので道路反対側の公園の様子を写真に撮っていると、バイクに乗った若者が歩道を走行し、左手で私の手から 아이폰を奪い取ろうとしました。そのはずみに、 아이폰は地面に落ち、液晶画面が割れてしまいました。若者はそのままバイクで逃走しました。

2回、盗まれ、1回、破損をさせられたが、幸いにも実害は殆どなかったです。1回目の携帯は旧式で買い替える予定でした。2回目、3回目の 아이폰は盗難保険に入っていて帰国後、すぐに新品と交換することができました。写真、メール、アドレス帳などの情報はインターネット上のサーバーに保存されているため、以前とほぼ同じ状態に復元でき本当に良かったです。

皆さんも海外に行かれる時は、盗難には十分注意して下さい。カバンは必ず胸の前におくことです。



公園

偶然にも 아이폰を奪い取ろうとしたバイクに乗った若者が写真に写っていました。

日本語アラカルト

ヨーロッパで最初に公式の日本語教育が行われたのは、18世紀のロシア帝国の首都ペテルブルグ（現在名：サンクトペテルブルグ）にあった日本語学校でした。日本との通商を希望していたロシアは、日本語の必要性から日本人の漂流民を利用したいと思っていました。

残っている文献によれば、ロシアへの最初の日本人漂流民の名前は伝兵衛で、320年前（江戸時代の元禄期）、乗り込んだ船が漂流の末、カムチャツカ半島に漂着し、その後、首都ペテルブルグへ移送されました。そこでロシア語を学び、ロシア当局の指示のもと日本語を教えたようです。

日本への帰国は果たせず、その地で没したようです。伝兵衛はその出自、生業、ロシアでの足跡などの詳細は、不明のままです。ただ彼はロシアでの「日本語辞典」の作成に大いに貢献したと伝えられています。数多くの漂流民が海外での日本語教育に貢献しましたが、その殆どは、特別な日本語教育を受けたこともない一介の漁民、船乗りであったことは驚きです。

☆☆ ベトナムの正月 ☆☆

私はベトナム人技能実習生で、日本に来てもうすぐ1年半です。ベトナム人の正月の迎え方について簡単に紹介します。今年のテト（旧正月）は2月15日（木）～2月20日（火）で元旦は2月16日でした。中国の旧正月と同じです。テトはベトナム人にとって年間を通じて最も重要な祝祭日です。テトの時期になるとベトナム人はどこにいても、故郷に帰って家族や親せき一同と一緒にテトを迎えお祝いします。

代表的なテトの花といえばダオとマイです。ダオは主に北部地方でテトの飾り付けに用いられるピンク色の桃の花です。マイは主に南部地方で用いられる黄色の梅の花です。熱帯地方だけに生息する蘭系の花です。

テトで 欠かせない食べ物 北部地方ではバインチュン、南部地方では バインテトです。バインチュンは四角形で、バインテトは円筒形です。形は違うが、ほぼ同じ材料を使って作ります。日本の“ちまき”に似ています。もち米の中に豚肉や甘い生地を挟んで作ります。採りたての果物も一緒に飾ります。シャカガシラ、ココナッツ、パパイヤ、マンゴー、パイナップルです。

田舎では バインテトを作りながら大晦日を迎えます。都市ではいろんな所で花火が上がり、それを見ながら新年を迎えます。

正月の一日目に父の実家に行きお祝いをして、二日目に母の実家でお祝いします。いつも子供達にお年玉をあげます。三日目には教師や友達の家で集まり正月のお祝いします。最近では国内旅行に出かける人も多くいます。

私と同じ会社で働くベトナム人はテトの日に、会社から休みを貰い、紙で正月の飾り花を作り、正月料理を作りお祝いしました。



バインチュン

バインテト

自分達で作った正月の飾り花と正月料理

☆TIFA 会員動向☆

【入会者】

木曜教室：遠山新一郎

土曜教室：撰（えらぶ）正弘、島田和夫

西砂教室：なし

【退会者】

木曜教室、西砂教室：なし

土曜教室：石井恵治



（土曜教室新入会員 左から撰正弘さん、島田和夫さん）

☆今後の予定☆

- ・木曜教室ランチパーティー：3月22日
- ・木曜教室スピーチ大会：3月22日
- ・土曜教室スピーチ大会：3月24日